

4月に「全国学力・学習状況調査」が全国で実施されました。その結果、本校では次のような傾向が見られました。

- 漢字の読み書きや基礎的な計算などは次第に力をつけていますが、文章の中で漢字を使うことや、概数や単位量・割合など、苦手とする分野があります。また、長文を読んだり自分の考えをまとめたりすること、式や図・言葉を使って説明することに課題が見られるようです。
- 宿題はよくできていますが、自分で計画を立てることは難しいと感じている児童がいます。また、起床時刻や就寝時刻が遅かったり、テレビやゲームの時間が長かったりして、学校生活が気持ちよくスタートできない児童もいます。

学校では、以下のような点についての取り組みを行っています。ご家庭でもさらにご協力いただければと思っています。よろしくお願い致します。

## 学校では

- ・基礎学力を定着させるために繰り返して行う学習の工夫をする。(授業の始めや終わり、朝学習の時間にドリルやミニテスト、デジタル教材などを使って行う。授業の内容だけでなく、既習事項も含め広い範囲での復習も行う。)
- ・大切な言葉(算数用語や科学的用語など)を掲示するなどしてその言葉を使って説明したり自分の考えをまとめたりする。
- ・ペア学習やグループ学習で自分の考えを伝える場を工夫する。

## 家庭では

- ・宿題にしっかり取り組ませる。(宿題に出ている内容が分かるということが大切です)
- ・「家庭学習の手引き」を参考にし一緒に内容や時間について計画を立てる。
- ・起床時刻や就寝時刻を決めて睡眠時間を確保する。
- ・ゲームをしたりテレビを見たりする時間を決め、守れるように環境を整えたり声かけをしたりする。
- ・がんばりを認め、励ます声かけも忘れず。

## 一言アドバイス…続けるためのひと工夫

- はじめに、簡単なルールを決めておき、カレンダーに印をつけたり、シールをはったりしていくなど楽しく習慣化できるよう工夫してみる。
- リビングや台所など保護者の目が届く所で安心して学習する。保護者は、音読を聞いてあげたり、わからないところを一緒に考えてあげたりするなどして、子どもにとって、あたたかく安心できる時間にする。(高学年は、1人で集中したい場合もあります。個々に応じて対応してください。)

